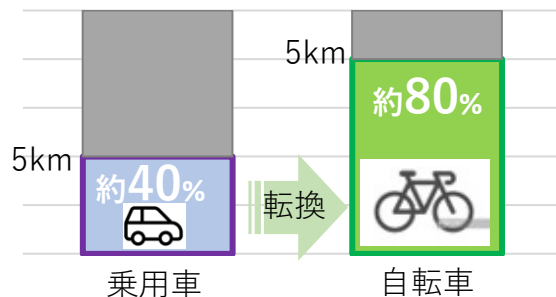


環境にやさしい自転車利用の推進

乗用車は5km未満での短距離利用が約4割を占め、1人での利用が中心となっています。一方で、自転車は5km未満の利用が約8割を占めています。温室効果ガスの排出を低減するためには、こうした乗用車の短距離移動を自転車に転換していく必要があります。自転車利用を推進するために、自転車道や自転車専用通行帯、矢羽根等の路面標示の整備によって自転車ネットワークを拡大していきます。また、近畿地方整備局管内では、日本を代表する「ナショナルサイクルルート」として2ルートが指定されており、地域と連携してサイクルツーリズムを盛り上げていきます。

乗用車から自転車への転換

移動手段別トリップ長の割合



乗用車の
短距離移動を
自転車へ転換！

自転車走行環境の整備

自転車ネットワーク計画に位置づけられた直轄国道の約163kmのうち、約27kmで自転車通行空間の整備が完了
R6年度：約6km整備予定



【関連ページ】GOOD CYCLE JAPAN

ナショナルサイクルルート

ピワイチ (R元年11月指定)

ピワイチは、日本最大の湖「琵琶湖」を反時計回りに一周する193kmのサイクリングコースです。



【関連ページ】ピワイチ

太平洋岸自転車道 (R3年5月指定)

太平洋岸自転車道は、千葉県銚子市から神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県和歌山市の太平洋岸を結ぶ1,487kmのサイクリングコースです。



【関連ページ】太平洋岸自転車道